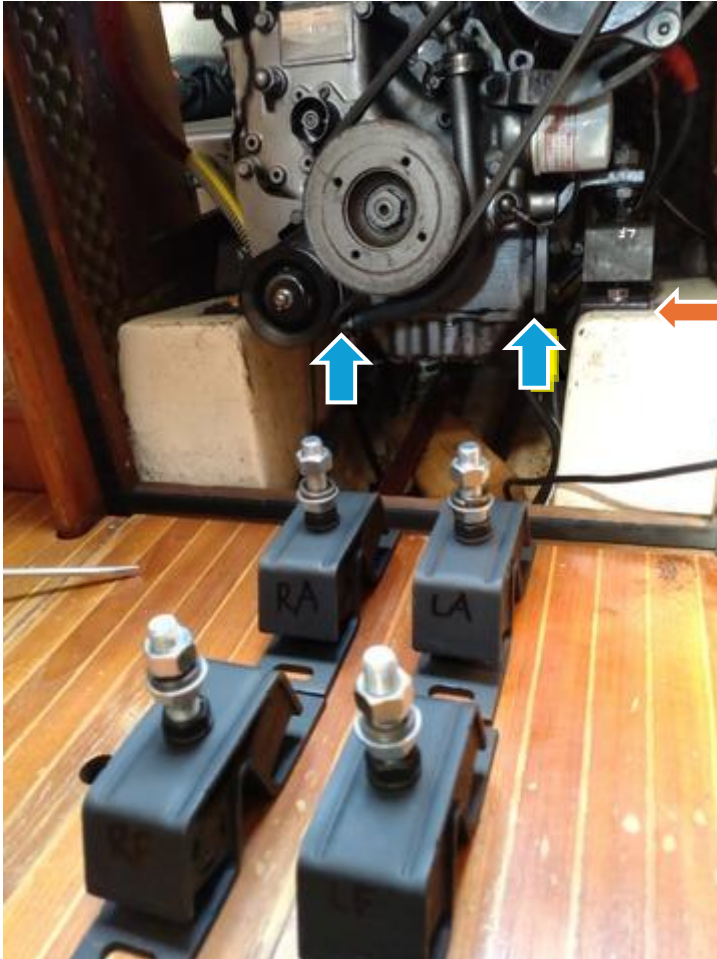


### \* エンジンマウントの交換

35年は経過していると思われる 2GM20 のエンジンマウントは経年劣化して振動が出るので全て新品に交換する。



YAMAHA のヨットは頑丈に作ってあり、エンジンをクレーンで吊り上げようと考えたがステップが外れない！？

仕方なく軽 4 輪のジャッキと板切れを使ってエンジンを 5cm 上げてマウントを交換、これは上手く出来た！

因みにエンジンの乾燥重量は 112 kg/2GM20、135 kg/3GM30、軽 4 のジャッキで軽々と上がる。



前方はOil Casecover に当たらないように左右別々に上げる、↑ 後方はGearcaseの付け根に当てて両方上げる。Mixing Elboに繋がる高圧ホースは外すか、ホースバンドを緩めて動くようにした方が作業は容易だ。



重要なのは、ナットの高さを変えない、↑ 取り付けボルトの位置を同じにする事、← それでも細かい芯出しは必要だが、それは海に戻して、回しながらやる。



カップリングボルトナットを軽く締めた状態でギャップを回しながらCK、マウントの交換時にカップリングを合わせて取り付けただけでギャップは後方から見て 270 度に 0.2 mm のスキミゲージが入る程度、リミットはMax0.2 mm、この場合の調整方法はエンジン本体の取付ボルトをほんの少しだけずらせば良いのだが、ボルトナットを増し締めしたら、ギャップは 0.1 mm になり Good !!

このボルトナットだが、Yanmar parts list には S ワッシャーがない！？ Contrail は過去に 2 回もセーリング中の遊転時にナットが緩んでカップリングが外れてしまった事例があったので、それ以来 S ワッシャーを入れることにしている。

試運転の結果は・・・Before/After の違いは劇的に良くなった！